



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより
学校教育目標
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

7月号
令和元年7月22日
編集 校長 岡こずえ

「道徳公開授業・教育後援会・学級（学年）部会」多くの皆様にご参加いただきました

明日からいよいよ夏休みが始まります。今年は5月の大型連休があったので、例年より短い31日間となります。普段はできないことにチャレンジし、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。

さて、先日は道徳公開授業参観並びに地域ふれあい道徳事業講演会、学級（学年）部会にご参加いただき、誠に有難うございました。道徳の授業が「特別の教科 道徳」として教科化されて1年が経過しました。それぞれの学年が児童の実態を考慮し、本時のねらいを明確にして教材研究を行い公開させていただきました。

また、その後体育館で講演会を行いました。今年度は日本語研究の第一人者でもあり、メディアでも皆様ご存知の金田一秀穂先生をお招きし、日頃から感じておられる言葉によるコミュニケーションについてのお話やご自身の子どもの頃の体験をユーモアたっぷりに語っていただきました。本校は昨年度、「第5回贈りたい本大賞」に全校をあげて取り組み、山梨の読書活動推進に貢献したことで、山梨県立図書館館長の金田一秀穂先生から館長賞をいただきました。そのようなご縁もあり、今回本校に来ていただくことができました。著名な先生のお話とあって大変説得力があり、人間性豊かな子どもに育てるための多くのご示唆をいただきました。保護者の皆様だけでなく、地域の方々や市教委等の教育関係者にも来校していただき、学校の様子を感じていただく良い機会にもなりました。今後とも地域に開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを支える教育活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



(公開道徳授業の様子)



(講演会：「子どもと読書」)

1学期の重点項目：授業規律と清掃の取り組み

◇多くの児童が黙々と清掃できるようになりました。

(ほうきを振り回したり、奇声を発したりすることがほとんどなくなり、自分の分担が終わっても仕事を探して活動できるようになりました。)

◇あいさつがきちんとできる児童が増えてきました。

(登下校や授業、廊下ですれ違った時など気持ちのよいあいさつができるようになってきました。)

白根東小・白根巨摩中の学校長と定期的に意見交換をする機会があるのですが、本校の児童の頑張りについて主に2つのことを報告しました。本校でのキーワードにもなっている「教師と児童でつくる学校」。まさにベクトルを合わせて教育活動を行ってきた成果と考えます。児童会が中心となり、あいさつ運動や清掃活動を通して学校生活の改善に努めてくれました。これまでの具体的な取り組みは前回の「学校だより」でも紹介させていただきましたが、5年生、6年生が交流清掃をし、後輩に手本を示してくれました。そのようなこともあって4年生も一生懸命清掃に取り組んでいます。また、2階のフロアでは、3年生が2年生のお手本になろうとトイレのスリッパを積極的に整頓してくれるので、いつ見てもきちんとしていて気持ちが良いです。2年生も人数がとても多く最初はなかなか大変でしたが今では静かに丁寧に教室を磨いてくれています。1年生も先生の指示を聞いて頑張っています。

先輩の後ろ姿や優しい声掛けは、時に教師以上に説得力があるものです。今後も児童会が中心となり、当たり前前のレベルがさらにアップするよう期待しています。

不審者対策および校舎内への出入りについて (お願い)

児童の登下校に際し、いつも温かく見守っていただきありがとうございます。

先日、南アルプス警察署生活安全課の2名の方に来校していただき、夏休みを前に防犯教室を行いました。実際に出会ってしまった場合の対処法やDVDによる学習をしました。本校でも不審者侵入の予防対策として4台の防犯カメラを設置していただき、常に職員室で監視することができますが、万全ではありません。また、最近不審者情報が頻発しており、学校安全に厳重にならざるを得ない状況です。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。



(スクール・サポーター小田切さん)

児童の安全確保のため、校舎内に無断で立ち入ることを禁じます。御用のある方は、職員室にお越しく下さい。学校長

(児童玄関・正面玄関)